

雪印メグミルクのあゆみ

受け継いだ開拓者精神で、ミルクの価値と可能性を追求し、
更なる進化を遂げ、おいしさと健康をお届けし続けます。

創業以来、ミルクの価値と可能性を追求し、事業領域を拡大し、雪印メグミルクは進化を続けています。
これからも、研究開発を起点とした「ものづくり」によって新たな価値を創造し、おいしさと健康を
お届けするとともに、持続的成長を目指します。



雪印メグミルクの設立経緯

1925年

有限責任 北海道製酪販売組合



雪印メグミルクの前身会社の一つである雪印乳業(株)の前身が、関東大震災(1923年)後の食料政策によって窮地にたった北海道の酪農を救うために生まれた生産者による組織「有限責任 北海道製酪販売組合」です。創業と同時にバター製造を開始し、1926年に近代工場ができてからは、「雪印北海道バター」を本格的に製造販売し始めました。これが雪印メグミルクの始まりです。

1950年 設立

雪印乳業(株)

1972年 設立

全国農協
牛乳直販(株)

1974年 社名変更

全国農協直販(株)

1996年 設立

ジャパン
ミルクネット(株)



価値創造の仕組み

信頼回復と会社再建

2000

雪印乳業食中毒事件

2002

雪印食品牛肉偽装事件

2003

事業分割

2009

経営統合

2011

合併

ミルク未来創造企業へ

乳製品事業

雪印乳業 (株)

飲料・デザート
(市乳) 事業

日本ミルク
コミュニティ (株)

共同持株会社 設立

雪印メグミルク (株)

雪印乳業 (株)

日本ミルク
コミュニティ (株)

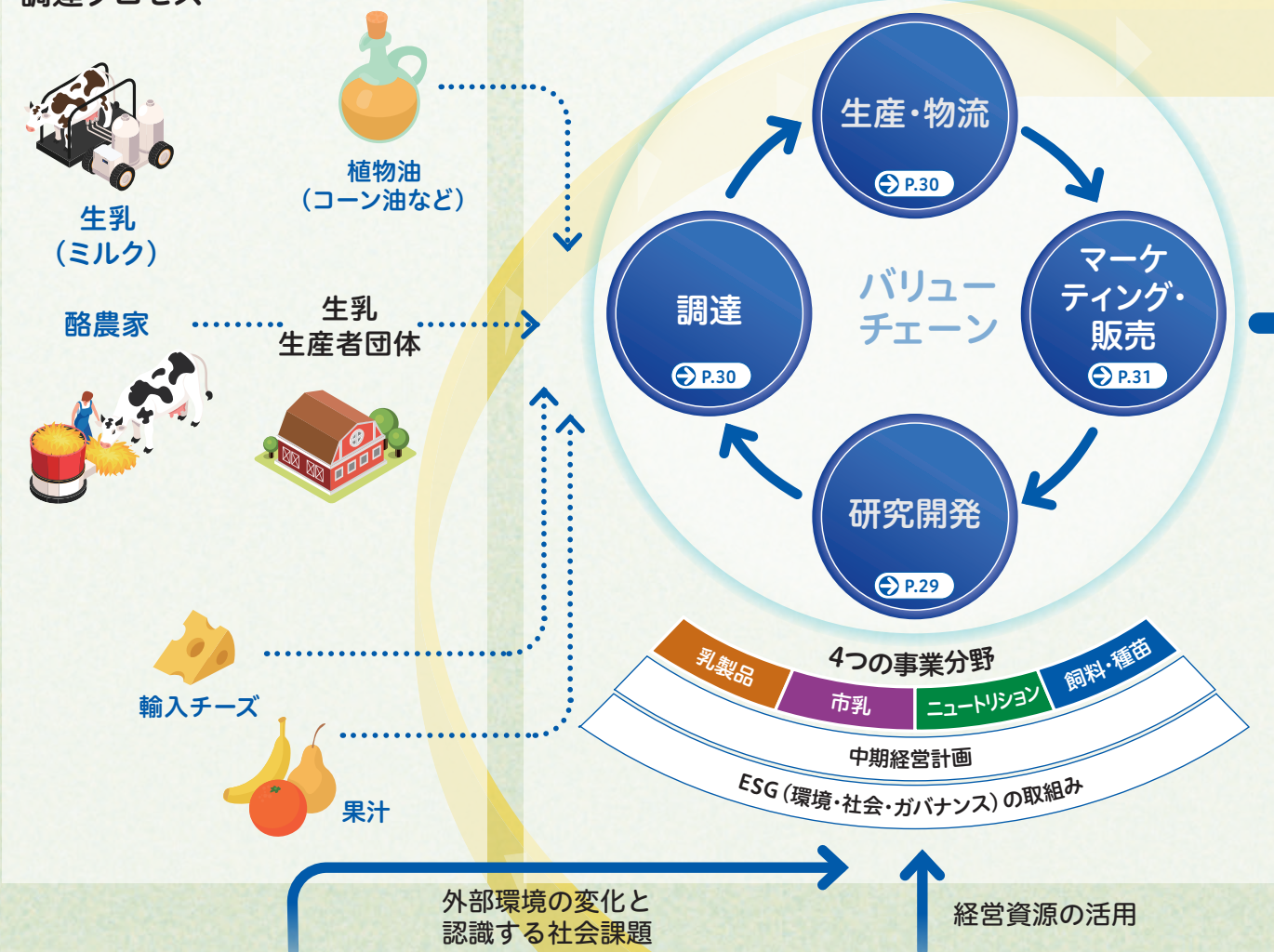
雪印メグミルク (株)

価値創造プロセス

雪印メグミルクグループは、企業理念のもと、グループの強みを活かした事業活動により、持続可能な社会の実現に貢献していきます。社会に貢献する価値提供を通して、「グループ長期ビジョン2026」を達成することにより、雪印メグミルクグループの企業価値の最大化と将来にわたっての持続的成長を果たします。なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響も懸念されますが、状況を見極めながら適切な対応をしていきます。

雪印メグミルクの事業活動

調達プロセス



経営環境

- 消費者の価値観の多様化
- 国内生乳生産量は減少から増加
- 国内乳製品市場は伸長
- 世界の乳製品消費量は拡大
- 「乳の国際化」が進展

社会課題

- 少子高齢化・労働人口の減少
- 健康寿命の延伸
- QOL (Quality of Life) の向上
- 気候変動などの環境問題
- 生活様式・働き方の変化

経営資源

自然資本

自然環境とその恵みをもとに成長を果たす

知的資本

安全・安心な商品をお届けするための研究開発力・生産技術力・品質管理力

人的資本

成長を牽引するグループの推進力(=人材)

アウトプット



マーガリン類
(油脂)



牛乳
乳飲料
ヨーグルト
バター
チーズ
など

消費
市場



天然果汁



財務パフォーマンス(2019年度)

連結売上高
6,134億円

連結営業利益
179億円

ROE
7.1%

提供価値

経済的価値

長期ビジョンのゴールイメージ

連結売上高
7,000~8,000億円

連結営業利益
300~400億円

ROE
8%以上

社会的価値

CSR重要課題(マテリアリティ)

乳(ミルク)による食と健康への貢献

持続可能な酪農への貢献

環境負荷の低減

多様な人材が活躍できる職場の実現

地域社会への貢献

目指す未来

グループ長期ビジョン
「ミルク未来創造企業」

3つの未来



消費者

乳(ミルク)で
食の未来を創造します。



酪農生産者

酪農生産者の未来に
貢献します。



私たち

私たち社員の未来を
拓きます。

価値創造の仕組み

再投資

製造資本

安全・安心な商品をお届けするための
生乳・原材料調達、工場、物流網

財務資本

成長に向けた企業活動、成長投資を可能にする
健全な財務基盤と資金調達力

社会・関係資本

ステークホルダーとの信頼・関係

雪印メグミルクグループの バリューチェーン

雪印メグミルクグループは、安全で安心な商品を提供し、皆様の健康増進に貢献するため、研究開発から調達、生産、物流、マーケティング、販売に至る強固なバリューチェーンを、グループ体となり構築しています。

研究開発

〔SDGsへの貢献〕



お客様においさと健康をお届けすることを目的に、研究開発の中心的な担い手としてミルクの価値と可能性を徹底的に追求します。

ミルクを構成するたんぱく質・脂質・糖質などの成分に着目し、健康機能を探索する研究や、食品の構造と風味や食感との関係についての研究を行っています。

食品機能 研究分野

重点研究分野

ミルクの新たな価値を創造し続けることを目指し、「おいしさ」と「健康機能」を商品に反映するための研究開発を行っています。その一部を紹介します。

乳児からシニアまでの様々なお客様の健康の維持・増進に貢献できる、雪印メグミルクならではの商品を開発することを目指して、ミルクや乳酸菌が有する健康機能に関する研究を行っています。



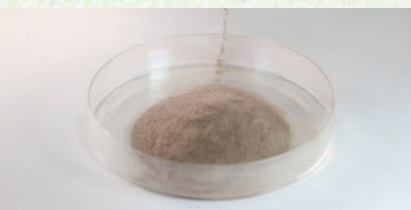
食品加工 研究分野

技術開発 研究分野

ミルクの風味の解析や分析結果に基づいた食品加工技術や、容器包装設計などに関わる技術の開発などに取り組んでいます。



「ガセリ菌SP株」



「MBP」



「乳酸菌ヘルペ」

研究開発体制



ミルクサイエンス研究所
(埼玉県)



札幌研究所

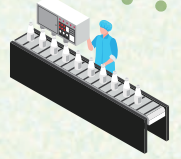


チーズ研究所

研究開発部門は、ミルクサイエンス研究所、商品開発部、研究開発部によって構成されています。ミルクサイエンス研究所は、埼玉県の開発拠点に加え、北海道の札幌研究所、山梨県のチーズ研究所の3研究所体制となっています。それぞれの研究所では、乳酸菌やミルクの成分の健康機能、牛乳・乳製品の風味や食感、チーズ・バター・粉乳など乳製品の加工技術、容器包装などに関する研究、ナチュラルチーズの製造技術の伝承など、多岐にわたる研究を行っています。

生産・物流

〔SDGsへの貢献〕



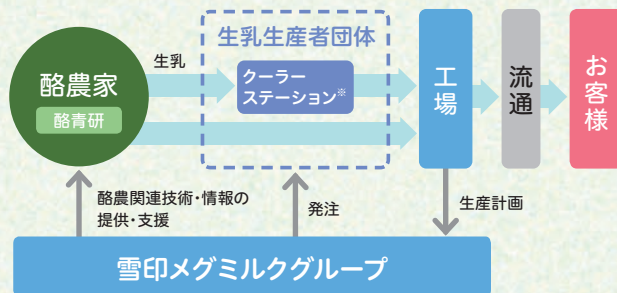
調達

〔SDGsへの貢献〕



酪農経営の多様化に合わせ、高品質の生乳調達のため、飼養管理技術に関する調査・研究と普及を進めます。

酪農から食卓への生乳の流れ



※ 酪農家から受け入れた生乳を一時的に保管する冷却施設

酪農生産者の皆様が丹精込めて育てた乳牛から搾られる生乳を調達し、様々な商品に加工することで付加価値を付け、お客様の食卓へとお届けすることが雪印メグミルクグループの大きな役割です。

物流

品質維持に徹した物流体制

物流部門は、工場から出荷した商品を安全で安心していただけるよう、輸送業者・保管業者と連携し、流通品質に充分留意した配送に取り組んでいます。また、雪印メグミルクは2019年10月に、「ホワイト物流」推進運動[※]の趣旨に賛同し、「自主行動宣言」を提出しました。宣言の必須項目は次のとおりです。

※国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的に、トラック輸送の生産性向上・物流の効率化および女性や60歳以上の運転者なども働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動

雪印メグミルク「自主行動宣言」の必須項目

- (1) 物流の改善提案と協力
- (2) パレットなどの活用
- (3) リードタイムの延長
- (4) 異常気象時などの運行の中止・中断など

消費者重視経営に基づき、お客様・消費者に信頼していただける品質を実現し、安全で安心な商品を提供していきます。

生産

雪印メグミルクの品質保証

お客様・消費者へ安全で安心していただける商品を提供していくことはもちろん、お客様・消費者の声を謙虚に聞き、反映することにより消費者重視経営を実践し、信頼していただける品質の実現を目指します。そのために品質保証方針として、以下の4つの項目を定めています。

〔品質保証方針〕

- ① 消費者を重視した品質保証体制のもと、法令・社内基準を遵守し、安全で安心していただける商品を提供します。
- ② 適切な情報を提供し、消費者の信頼にお応えします。
- ③ 消費者の声を傾聴して、満足していただける品質を追求します。
- ④ 危機管理体制を整備し、迅速、適切に対応します。

品質保証システム「MSQS」に基づく徹底した品質管理・衛生管理

各部門で働く従業員による品質保証活動を推進し、ISO9001^{※1}とHACCP^{※2}の考え方を取り入れた雪印メグミルク独自の品質保証システム「MSQS」を活用し、徹底した品質管理・衛生管理を行っています。

※1 国際標準の品質マネジメントシステム

※2 食品の安全性を確保するための衛生管理手法

〔取組み方針〕

生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者などの関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

〔法令遵守への配慮〕

取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業者関係法令を遵守できるように、必要な配慮を行います。

〔契約内容の明確化・遵守〕

運送および荷役、検品などの運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者などの関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

お客様・消費者の声に
真摯に向き合い、
消費者重視経営を実践!!

〔SDGsへの貢献〕



マーケ
ティング・
販売

お客様

安全で安心な商品を販売するとともに、
おいしくて健康増進に貢献する提案を続けています。

お客様の健康課題とニーズを把握し、
健康増進につながるキャンペーンや
売場での提案を展開

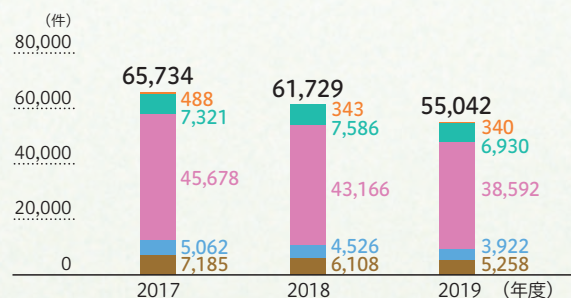
外出自粛や在宅勤務により自宅で過ごす方が、台所・リビングなど、おうちでできる健康な体づくりを、雪印メグミルクが谷本 道哉先生(近畿大学生物理工学部准教授)と協力して提案しました。店頭などでリーフレットや動画によるかんたん筋トレエクササイズを紹介し、運動に必要な食事としてチーズやヨーグルトなどの「高たんぱく質・低糖質」の食べ方を紹介しました。また、日本人が不足しがちなカルシウムやビタミンをスープごと摂れる「栄養まるっとスープ」を売場にて提案し、乳製品と野菜を組み合わせて、手軽に調理できるスープのレシピを36種類紹介しました。夏場の汗とともに排出される「鉄分」「カルシウム」「ビタミン」が多く摂取できる商品を通じて、発汗対策の啓発も同時に行いました。



お客様センターの対応とお客様満足度の向上

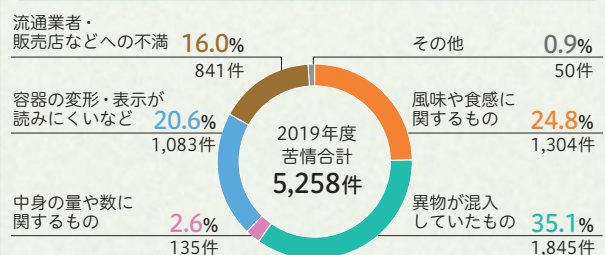
雪印メグミルクでは、「お客様センター」を年中無休で運営しています。苦情のお申し出に対しては各地域の担当者や品質保証部と連携して迅速に対応しているほか、お客様からいただいた貴重なご意見は担当部署へ伝達し、より良い商品開発、よりわかりやすい商品表示など企業活動に反映しています。また、お客様の声を活かした商品の改善を目的として、雪印メグミルクでは毎月関係部署が集まり、「お客様満足向上ミーティング」を開催しています。

お客様センターの受付件数



- 満足 : お褒め、お礼、激励など
- 興味・関心 : 宅配お申し込み、取扱店紹介、サンプルや資料のご請求など
- 問い合わせ : 商品の原料、製法、保存方法、利用方法などへのご質問
- 不満・指摘 : 商品・サービスに対する不満点へのご要望
- 苦情 : 商品引取り、訪問、検査などの対応が必要な苦情

受付件数の中での「苦情」の内容



お客様・消費者への
様々なアプローチ

オンラインショップ

通販



Belle Neige Direct

(株)ベルネージュダイレクト

ベルネージュダイレクトは、雪印メグミルクグループの通販事業である「雪印メグミルクダイレクト」を運営し、雪印メグミルクと雪印ビーンスタークの機能性商品を販売しています。乳をはじめとした食と健康に関する長年の研究から得られた確かな機能性にこだわり、人々の生き生きとした暮らしをサポートできる商品を取り扱っています。



販売

赤ちゃんとお母さんを
サポート



BeanStalk

雪印ビーンスターク(株)

雪印ビーンスタークは、育児用粉ミルク・離乳食などの育児関連商品や機能性食品の研究開発・製造・販売を行っています。1960年から約30年ごとに実施してきた「全国母乳調査」に基づき、母親の生活習慣と母乳成分が乳児に与える影響に関する母乳研究を行っています。その最新の研究成果を活かし、2019年7月にリニューアル発売した育児用粉ミルク「すこやかM1」には、日本で初めて母乳の守るチカラである成分「オステオポンチン」を配合しました。また、2020年4月に発売した液体ミルク「すこやかM1」は、この成分が含まれていることに加え、常温で保存することができ、お出かけ時や災害備蓄用としてご利用いただけます。



販売

飼料事業の拡大

雪印種苗株式会社

雪印種苗(株)

雪印種苗は、養牛用配合飼料・飼料作物・野菜種子などの販売を行っています。4月にホクレンくみあい飼料株式会社との合併で、配合飼料の生産会社として新会社「ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社」を設立しました。現在、苫小牧市内に牛用飼料の新工場を建設中です。合併によるスケールメリットと最新鋭の製造設備を活かし、北海道の酪農・畜産の発展に貢献していくために、低コストで、安全・安心、高品質な飼料をお届けしていきます。



ホクレンくみあい飼料株式会社との
合併契約締結式

